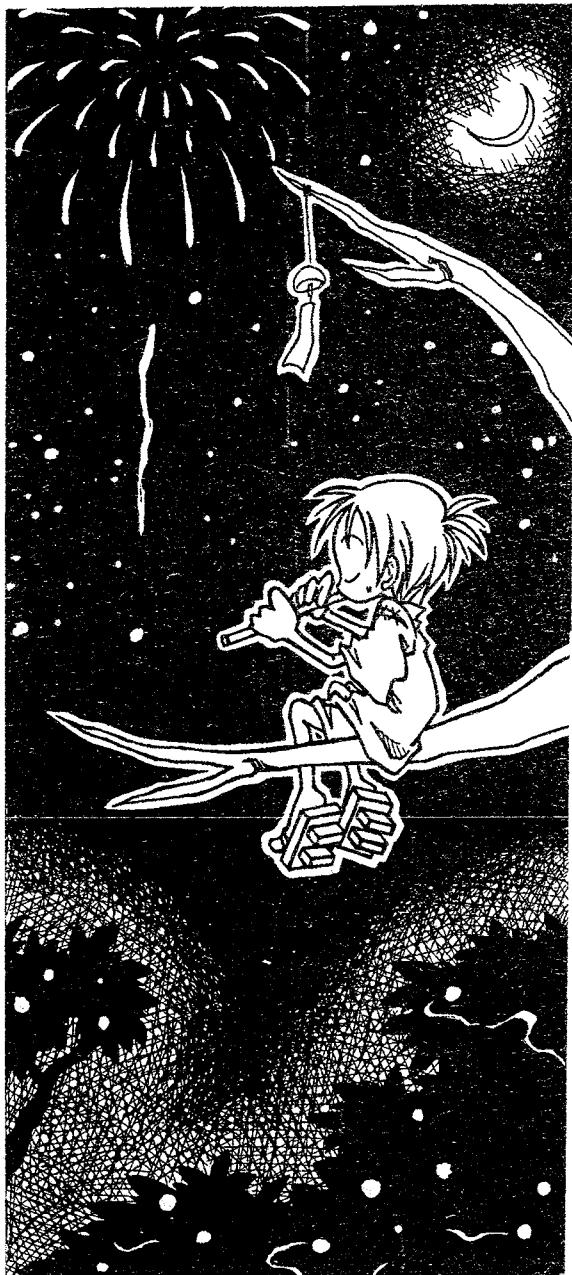


2001年 7月 6日 Vol. 22

## 選挙と政治とNPO



表紙イラスト 勝 亜矢子さん

選挙の季節である。日本中を覆っていた政治不信は、小泉内閣が成立してあっという間に熱狂に取って代わられた。不信の中心には人々の「どうせ…」という無力感があり、それが熱狂になったにすぎない。私は、大いなる政治不信に大賛成であった。期待しない、自分たちでやるというところからしかこの国の改革は始まらないのである。それがNPOの精神であったはずである。反対に有能な政治家が頑張れば頑張るほど、彼らを応援し、彼らに期待する人々が駄目になっていく。自分の努力を忘れて権力に、スターに期待してしまう。私は「ポピュリズムを怖れよ」とつぶやくばかりだ。

で、選挙である。センターには「NPOは政治をやってはいけないんですよね」「NPOは誰を支援しているのですか?」等というさまざまな問い合わせが入る。どちらも大きな間違いである。前者はNPO法をまとめて読めば間違いがすぐわかる。後者はかなり流布した誤解であろう。実態を知らないマスコミが作り出した幻影である。「企業は誰を応援しているのですか?」とは誰も聞かない。「セメント業界は」とか「酒小売業界は」とは言う。NPOはそういう意味での業界ではない。企業セクターと同じ非営利セクターの呼称である。

だからその中の個々のNPOは自民党支持から共産党支持、もちろん無党派まであります。ダム開発に反対するNPOは当然自らの主張に照らして候補者を選ぶだろう。ただ、NPOの法制度や税制優遇、社会的基盤整備などの共通課題については、シーズや当センターのような支援組織が中心となって超党派で国会等へ働きかけてきたわけだ。

せんだい・みやぎNPOセンター代表理事 加藤 哲夫

### 内容

訪米報告「評価」、市民活動カラフルフェスタ、NPOと情報戦略  
緊急雇用対策事業報告、部会報告、税制学習会  
いわてNPOフォーラム21、はみだしトーク  
事務局活動報告、新年度開始のお知らせ ほか

評価システム研 米国調査レポート (2001.5.21~5.25)

## 評価は、 NPOをパワーアップするための道具

せんだい・みやぎNPOセンター 常務理事・事務局長 紅邑晶子

### ■評価は、良いところと悪いところの再発見

「評価」というと、「評価の結果、〇〇〇に問題があるので、反省して〇〇〇を改善しましょう」というような、減点評価のイメージがあって、評価行為をあまり積極的にやりたくないというのが多くの人の思うところです。けれども、実は評価というのは決して短所ばかりを数えるものではなく、長所も数えて、総合的に判断して、短所の補うべき点を確認し、長所の優れた点をさらに生かすという、つまり[良いところと悪いところの再発見]のきっかけになるものです。

さて、アメリカのNPOにおける評価についてです。5月21日から25日まで、「評価システム研究会」の調査で、アメリカにおけるNPOの評価に関するヒアリングを行なってきました。今回伺った先は、ドラッカー財団やユナイテッドウェイなどの助成財団やその支援を受けたNPO、そして、その間をつなぐインターミディアリーやコンサルタントなど、約10の団体や個人。その調査結果は、9月の評価システム研究会の報告会で発表の予定ですが、わたしが今回の調査で印象的だったことをいくつかご報告したいと思います。

### ■その1 なぜアメリカのNPOは、評価をするのか

アメリカで事業評価が行われるようになってきたのは、今から10年ぐらい前。行政や財団が補助や助成する際の判断材料とするためにNPOに

評価を求めるようになったことから盛んになったとのこと。その結果、NPOの間では、事業の見なおしなど、組織体制の再構築をする際に評価システムを活用したり、組織のミッションと目的を改めて明確にするという点で、効果を上げてきているようです。が、実はアメリカでも、評価を取り入れていないNPOもまだ結構あるらしいです。

### ■その2 ワシントンポスト・アワード

ワシントンエリアのNPO支援を行っているインターミディアリのひとつWCAは、ワシントンポスト社主催の「ワシントンポスト・アワード(賞)」の運営をまかされています。この賞は、NPOの組織評価が組織内でどのように行われ、その結果どのような成果があったかを書類審査・ヒアリング・プレゼンテーションで競うもので、最終の選考に残った5団体は、ワシントンポスト紙に広告を無料で掲載してもらうことが出来、さらに最優秀団体には賞金も贈られます。

毎年約50団体近くが応募し、プレゼンテーションは最終審査に残った5団体が行います。この審査は第1次から最終審査まで半年近くかけて行われ、第2次で選ばれた5団体には審査員が直接ヒアリングに行きます(少なくとも2団体以上)。もちろん審査員はボランティア。審査員には前年の受賞団体の人が入っていたりします。わたしは、こういったことがまさにNPOセクターのマネジメント力を上げる支援に

なると思いました。なにより、発表する団体以外のNPOの参加者が多数スピーチを聴きに来ていることに驚きました。また、インターミディアリーと企業の協働のあり方も大変参考になりました。

### ■その3 NPOが評価を行なうためのお金を支援するしくみ

評価の時期や内容については、組織の規模や組織の状況などにより異なると思いますが、さらには、誰が評価を行うのか、(組織として)どれぐらいの時間とお金がかけられるのか、という点も考慮しなければいけないと思いました。けれど、評価は行ないたいけれど、人もコストも時間も組織にはないというNPOは少なくありません。そういうNPOのために、日本でもアメリカのように、NPOが評価コンサルを行うための助成金制度があれば、NPOの運営や事業内容はグンと質の高いものになると思いました。

などなど、なんだか面倒そうだった評価も、活用の仕方によっては、NPOのパワーアップに

つながる道具であることを実感して帰ってきました。なんといっても、自分たちで築いた評価システムを評価された(認められた)NPOでは、出会った人々が、みんな輝いていたのが印象的でした。良いことをするにも、その成果を証明する仕組みがあれば、活動する人々を元気づけるということなのがいました。

### ●おまけ

海外でNPOを訪ねると、素敵なパンフレットとニュアルレポート(活動報告)を頂く機会がよくあります。デザインやロゴマーク、写真など、視覚的に活動内容を的確に伝える手段と考えてか、単なる表組みや文章だけではありません。そんなパンフレットに刺激されつづけて、ようやく当センターでもカラーの団体紹介パンフレットを作ることが出来ました。ご感想をお寄せ下さい。

なお、写真は岩手県湯田町で自然観察会を主催している、プロのカメラマン瀬川 強さんにご協力頂きました。

■仙台市市民活動サポートセンターにて

## 市民活動 カラフルフェスタ開催!

開館2周年を迎えた仙台市市民活動サポートセンター(設置・仙台市、管理・運営・当センター)では、来る7月21日(祝日・金)・22日(土)の2日間にわたり、「市民活動カラフルフェスタ」(主催・仙台市)を開催します。市民活動に携わっている人から、これから何か活動をやってみようと思つている人まで、気軽に足を運んでいただけるフェスティです。

1日目には、「学びのステージ」として、オープニングを「市民活動からのラブレター~あなたのおもいが地域を変える~」と題しパネルディスカッション形式で進め、引き続き5団体による研修系企画を行います。2日目には、「交流のステージ」として、公募で申し込まれた25団体による市民活動バザール、および3団体による交流系企画、最後に、なごやかな交流会が予定されています。

梅雨明けの真夏の太陽が燦々とふりそそぐ中、サポートセンターは、2日間お祭り色に染まります。夏の休日を海に行ったり、家の中でのんびりしたりせずに、サポートセンターで普段感じるとのできないフェエスタ気分を、存分に楽しんでみませんか。ご家族やお友達をお誘い合わせの上、是非ご参加下さい。

(菅野 郁美)

## ●みやぎNPO支援センターネットワーク スタッフ研修 ●

**N P O と 情 報 戰 略**

「情報戦略」。一昔前なら、こんな「いかつい」言葉はせいぜい軍隊か巨大多国籍企業しか使わない専門用語でした。しかし、インターネットというフラットな広がりを持つ情報回路が世界中に行き渡り、手のひらサイズの端末から誰でもそれにアクセスできる現在、この言葉もいつの間にか市民の手の中に収まるものとなりました。その中でも特に、「共感」や「協働」、そして「連携」と言った概念を行動原理に抱き、それらの集積をもって「社会変革」をめざしてゆくNPOにとっては、「情報戦略」は今や活動の成否を左右する重要な要素の一つです。「自分たちの活動を広げるために、インターネットなどのツールをどのように使ってゆけばいいのか?」そんな悩みを抱えているNPO関係者も多いことでしょう。そうした疑問に答える講座が、7月1日「みやぎNPO支援センターネットワーク」の研修プログラムの中で開かれました。

**●8割の団体がインターネットを使用**

今回の講座では、講師に「市民コンピュータコミュニケーション研究会(JCAFE)」代表の浜田忠久さんを迎へ、日本におけるNPOのインターネット利用状況やJCAFEの概要、そして主にホームページの運用方法などについてお話をいただきました。その中でとりわけ印象に残ったのは、現在、日本におけるNPO・NGOに関する

るダイレクトリー類掲載団体(約1200団体)のうち、実に8割の団体が何らかの形でインターネットを使っている、という調査報告の内容でした。

**●インターネットの「活用」が課題**

しかし同時に「(それらの団体のうち)こまめにホームページの更新など、情報の『メンテナンス』を行っている団体は極めて少ない」ことも紹介され、インターネットというツールが実は十分に生かされていない実態も浮き彫りとなりました。確かに、メンバー間の連絡など、インターネットを気軽に「利用」することはNPOの現場でも着実に浸透しつつあります。しかし、日々新しくなる情報を加工して発信し、団体の力に変えてゆくまでインターネットを「活用」できているケースは、まだ少ないように思えます。そのためには、情報に関する事業体制を組織経営の基盤から見直すことが必要となってくるでしょう。

IT振興の旗印のもと、国を挙げての「ITブーム」が吹き荒れています。NPOでも、情報戦略と言うと「なによりもまずパソコンとホームページ」と言った風潮がみられますが、しかし、本当の「情報戦略」とは、事務局の体制づくりという「人づくり」のレベルから始まるものだということを、こうした時期だからこそ、改めて確認したいものです。

(工藤 寛之)

ます。ごさせたいと考  
成功させたいと考  
臨時雇用した職員  
の力、ご参加をお願い  
ました。皆さ

ます。NPOの人材に多く出  
会う事業であり、NPOの活性化に  
貢献できる事業となっています。  
の活発化を図るためにツールとして、  
NPOなどの人材と、これらを活用する  
ためのポイントを本としてまとめる  
定しています。

②は、環境教育・学習の取り組み  
の発展を図るためにツールとして、  
講師やアドバイザーになりえるNP  
Oなどの人材と、これらを活用する  
ためのポインツを本としてまとめる  
コースを予定しています。

**2つの緊急雇用事業を受託**

この度、当センターでは、仙台市が実施する2つの緊急雇用事業を受託することになりました。①市民局の「NPO事業に関する調査研究」と  
②環境局の「杜の都エコマイスター」(仮調査・ガイドブック)作成です。

## センタードサロン報告

第53回「地域がフィールドの若者たち」

第54回「NPOへの事業委託 ホンネとタテマエ」

## 部会報告

## PONPO-NET

第53回のサロンは「地域がフィールドの若者たち」というテーマで、5月16日（水）に開催されました。「若者」というキーワードのもとに、様々な分野で活動する皆さんから、それぞれの活動に携わる上でのメリットや、大変なことなどを話していただきました。「やりたいからやる」という熱い想いを持ちながら、活動を通していろいろな年代の人と関わることの重要性を感じていることと、「地域との関係」を意識しながら活動していることが分かった今回。地域と共に歩む「若者」に大きな期待を持つことができたサロンでした。

第54回のサロンは「NPOへの事業委託 ホンネとタテマエ」というテーマで、6月13日（水）に開催されました。NPO、行政それぞれから、実際に事業委託に関わる方々の「ホンネ」が続出（！？）。主に「行政の『NPO』という新しいセクターの評価方法」と「委託事業に対するNPO側の取り組み方やその成果の表し方」など白熱した議論が展開しました。模索しつつ、また双方の歩みにより戸惑いながらも、着実に歩みたいという現状がにじみ出されていたと思います。今後の委託事業が、NPOや行政にとってどう変化していくのか…楽しみですね！

●次回 7月26日(木)19時から

(田中 聰子)

5月31日（木）の第7回PONPO-NETには15名が参加。今回はサポート資源開発プロジェクト「人材・ノウハウ提供システム」ワーキンググループの企業の方5名が参加し、NPOの人と企業の人がお互いの職場を体験するシステム「めぐりあい体験」の説明をしていただきました。

NPOが企業に対してどのようなニーズがあるか知らないままこのシステムを考えてきたためシステムを具体化するにあたって、どういうニーズ・条件があるのか？をこの場でを探りたいとのことでした。これをうけて参加NPOから実際に企業と連携した事例をもとに「企業と対等な立場に立つこと」「お互いのメリットを確認すること」「NPOと企業が出会い、信頼関係を築く場づくり」が大切である、「NPOの経営相談にのるシンクタンクを目指してはどうか」などの意見が出ました。

好評の情報交換タイムでは、前回話題にのぼったイベントの報告があったほか、新たな話題提供もあり様々なアイディアが飛び出しました。

閉会後も名刺交換が盛んにおこなわれ、NPOと企業の出会い、交流の場になったようです。今後多くの企業の方、NPOの方のご参加お待ちしています。

●次回 9月5日(水)18時30分から

(中津 涼子)

会議室提供・東北NSソリューションズ㈱  
(名称変更前:東北エニコム(株))

## 速報！学習会 どうなった！？ NPO税制？？

今年10月より、一定の要件を満たしたNPO法人（認定NPO法人）に対して、税の優遇措置が導入されることになりました。これを受けたセンタードでは、6月25日シート＝市民活動を支える制度をつくる会事務局長の松原明さんをお招きし、学習会「どうなった！？ NPO税制？？」を開催しました。

認定NPO法人へ寄付を行った者に税の軽減を行う今回の支援税制は、既存の税の仕組みと比べると画期的なものとなっています。しかし現状では、認定NPO法人になるための要件が非常に厳しく、多くのNPO法人が認定を受けられそうにない状況です。今後、この認定要件をNPOの実態に即したものに改正していくことが重要なになります。

今回は急な開催にもかかわらず、20団体近いNPO法人関係者の方にご参加いただき、NPO税制に対する関心の高さを裏付けるものとなりました。センターでは、認定の申請が始まる10月に、再び学習会を開催する他、よりよいNPO支援税制の実現に向けた取り組みを続けていきます。皆様のご協力をよろしくお願い致します。

## 東北リレートーク

### 岩手県 盛岡市 いわてNPOフォーラム21

いわてNPOフォーラム21（inf 21）は、岩手県の呼び掛けがキッカケで、県内NPO支援団体やNPO的市民数名での研究会を経て、昨年10月に発足しました。代表は山田晴義先生（岩手県立大学教授）です。

まず手始めの事業として県から「NPO活性化支援調査事業」を受託して、県内NPO/765団体（回収275）および農業女性起業グループ450（回収92）のアンケート調査、その一部のヒアリング、県外NPO支援団体10団体の調査、県内地域型支援センターと共に開催するフォーラム開催、ホームページでの情報発信、そして「岩手県におけるNPO支援センターのあり方についての提言」報告書を発行しました（報告書は下記ホームページにUPしてあります）。初年度の運営体制は、地域支援センターの代表や著名な方々の役員構成のために機動的な会合ができないことを予想し、ML（メーリングリスト）での日常的な検討、および検討資料のWebでの情報共有というインターネット志向で運営をしました。

平成13年度は、自ら作った提言に基づいて全県対象

のNPO支援センターとなるべく意志を確認しあい、役員は「率先して動ける人」を中心で構成して第二ステージに臨んでいます。事業は大きく分けて、①市民やNPOとの「ネットワーク化事業」（主に情報提供とプレインネット）、②行政と連携する「NPO支援研究会」の発足と実践の積み上げ、③NPOと企業とが連携する「マッチング研究会」発足と事例促進の3本柱です。多様多彩で使命の強い人がリーダとするプロジェクトが並行して活発に展開できるよう、MLとWeb情報共有を基本とする機動的でフラットな組織運営を志向していきたいと考えています。本年6月には県委託の「いわてNPOサポートルーム」が県庁隣の公会堂に開設され、そこがinf 21の実質の事務局です。また7月には法人申請をしました。NPOの情勢は動きが非常に早くなってきており、県内だけでなく東北各地のNPO支援センターとの連携も必須と考えますので、よろしくお願いします。

事務局長 高橋 剛

### いわてNPOフォーラム21

〒020-0023 盛岡市内丸11-2 岩手県公会堂17号室  
電話019-605-8271 Fax019-605-8272

<http://inf21.region.gr.jp>

## はみ出し トーク

福岡発 「こんなNPO法人、あります！」

NPOふくおか 事務局長  
加留部 貴行さん

みなさん、樂しくNPOやつてますか？九州でもいろんなNPOが日々ミッション実現に向けて頑張っています。が、中には結構「おちゃめ」で「おバカ」なNPOも存在してしまいます。今日は選りすぐりの2つをご紹介します。

【その一】

【編集部がやつてるNPO】  
長さ400m、重さ2t、直徑10cm、の大綱をあちこちにもつて行つては地域間交流を仕掛ける大分県のNPO法人

【その二】  
【キャラクター】やつてるNPO

みなさんが、樂しくNPOやつてますか？九州でもいろんなNPOが日々ミッション実現に向けて頑張っています。が、中には結構「おちゃめ」で「おバカ」なNPOも存在してしまいます。今日は選りすぐりの2つをご紹介します。

【その一】  
【編集部がやつてるNPO】  
長さ400m、重さ2t、直徑10cm、の大綱をあちこちにもつて行つては地域間交流を仕掛ける大分県のNPO法人「豊前の国建設俱楽部」。かつては大分県と福岡県の県境に流れる山国川で「大分県vs福岡県水上大綱引き」なるものを開催して全国区となり、今や「県境はなくなつた」と豪語。その大綱はアメリカ・ロサンゼルスまで渡つたというシロモノ。最初につただけに、綱も切れることがなく、縄引きを通じてまちづくり交流を続けてます。最

近も「関門大綱引き」で2000人が大興奮！  
【その二】  
【キャラクター】やつてるNPO  
【環境戦士アースマン】というキャラクターをつくり、ちゃんとしたストーリーのもと、かぶりものまで作つて子どもたち相手にキャラクターショーやつてみると、大人も子供も喜んで見守る北九州市のNPO法人「北九州国際自然大学校」。今では幼稚園や保育園、はたまた公民館などでひっぱりだご。「アースマン、がんばれ！」という子どもたちの声援にはマスコミの注目度もバツグンで、福岡県も補助金出そと虎視眈々と狙つております。今後の展開としております。  
【に検討しているからスコイ！】  
いかがでしたか？一度、九州へもお越しくださいませ。おいしい魚と酒が待つてますよ…

(了)

## 事務局活動報告 (4/15~6/15)

活動  
報告

## ■ 事務局／自主事業関連

- ・事業・運営会議（第12回4/16 加藤・紅邑・遠藤・工藤・高田・青木 第13回5/9 加藤・紅邑・遠藤・高田・田中・青木 第14回5/21 加藤・遠藤・高田・遊佐・青木 第15回6/6 紅邑・遠藤・小浜・高田・青木）
- ・仙台市市民活動サポートセンター全体ミーティング（4/18・5/9・16・23・6/6・13）
- ・セナダードサロン「NPOとボランティアコーディネート」（4/19 遠藤・田中・紅邑）「地域がフィールドの若者たち」（5/16 田中・遠藤・中務・紅邑）「NPOへの事業委託ホンネとタメ工」（5/13 遠藤・田中・中務・紅邑）
- ・加藤哲夫のNPO経営相談（4/20・5/25・6/14 加藤・青木）
- ・NPO実践講座「企画書作成」（4/23 紅邑・工藤・青木）「広報活動・プレゼンテーション」（5/15 紅邑・工藤・青木）
- ・PONPO-NET（4/24 中津・松尾・紅邑 5/31 中津・松尾・加藤）
- ・仙台市市民活動サポートセンター休館日・センター会議（4/23・5/30）
- ・事務所レイアウト替え（4/26・27）
- ・みんみん発行（5/10）
- ・サポート資源開発プロジェクト 第1回研究会（5/16）第2回研究会（6/5）ワーキンググループ③（5/11）ワーキンググループ①（5/12）ワーキンググループ④（6/14）ワーキンググループ②（6/15）
- ・特定非営利活動法人せんだい・みやぎNPOセンター理事会 第23回（5/18） 第24回（6/15）

## ■ NPO／企業関連

- ・全国室内気候研究会講演（4/15 加藤）
- ・仙台初売りを考える会（4/16・24・6/5 紅邑）
- ・DCs委員会（4/17 加藤）
- ・日本財団へ報告（4/18 加藤・青木）
- ・支援センター研修運営委員会／日本NPOセンター（4/18 青木）
- ・住まいの基本計画会議（4/25 紅邑）

- ・「仙台中心市街地活性化推進機構」推進会議（5/8 紅邑）
- ・事業実現化検討委員会（5/8 紅邑）
- ・評価システム研究会（5/9 紅邑）
- ・仙台たばこ愛好会総会記念講演（5/10 紅邑）
- ・多文化共生セミナリオ＜浜松＞／主催：日本財団（5/11-12 加藤）
- ・MISA総会（5/13 加藤）
- ・支援センタースタッフ研修＜三重＞／主催：日本NPOセンター（5/18-19 遠藤・高田）
- ・大学コンソーシアム京都起業講座（5/19-20 加藤）
- ・評価システム研究会米国調査（5/19-28 紅邑）
- ・日本財団職員研修（5/22・6/5・6・8-12 加藤）
- ・日本財団ファシリテーター養成研修（6/7加藤）
- ・宮城県断酒会セミナー（5/26 遠藤）
- ・不忘アザレア研修（5/26-27 加藤・青木）
- ・NPOマネジメント編集合宿（6/1-3 加藤・紅邑）

## ■ 自治体関連

- ・社会教育委員会／市（5/8 紅邑）
- ・NPO政策フォーラム Im 仙台／民主党NPO委員会（5/13 黒澤）
- ・市町村職員研修／市町村自治振興センター（5/17-24・31 加藤）
- ・NPO法人優遇税制説明会／内閣府（6/15 黒澤・遠藤・高田）

## ■ 相談、ヒアリング関連

- ・友愛さくら：鈴木さん あかねグループ：藤田さん、高橋さん 会員：荒井さん 経営相談（4/15 加藤・青木）
- ・綾部市議会文教厚生委員会 7名様 視察（5/8 加藤）
- ・でんでん宮城いきいきネットワーク 濱岡さん 相談（5/14 加藤）
- ・宮城県断酒会 鈴木さん 相談（5/18）
- ・ICAS 遠藤さん、鈴木さん 経営相談（5/25 加藤）
- ・NPOふくおか 加留部さん 来訪（6/5 紅邑・高田）

**せんだい・みやぎNPOセンターの  
新年度から1から始まりました！**

早いもので2001年も折り返しの季節を迎えるころとなりましたが、当センターにとって新しい年度の始まりです。ぜひ、9月の通常総会にご出席いただき、この1年の活動報告とこれからの中のセンターの計画をご審議ください。

第3回通常総会は、9月9日（日）午後1時30

分より戦災復興記念館・5階会議室にて行います。記念シンポジウムと交流会も予定しておりますので、ぜひ、合わせてご出席願います。

会員の方には、ご出欠の確認とあわせて議案を8月後半にお送りする予定です。

皆様、引き続き今年度も当センターへのご協力とご支援をよろしくお願い申し上げます。会員継続の際は、お早めに会費のお振り込みをお願い申し上げます。  
(青木ユカリ)

## サポート・ご協力 ありがとうございます(敬称略)

### ●平成12年度会員 (振込順、4/16~6/15)

(新規)丹野修、早坂恵美 (継続)葛西淳子

### ●事務局ボランティアスタッフ

緒方布美子、花多山洋子、須藤達也、細野泰志、本郷正武(五十音順)

### ●企業協力 東北N Sソリューションズ(PONPO-NETの会議室を無料提供)、岡元タイル(事務局スペースを社会貢献価格にて)、富士ゼロックス(カラーコピー機を社会貢献価格にて)

## 講座・催事案内

### ■センダードサロン

NPOに役に立つ「情報公開」活用法! 7/26(木)

「祭り」と「まち」のいい関係! 8/21(火)

参加費500円、主催・会場/当センター、開始・19時~

### ■NPO経営相談

7/24(火) 8/30(木) 9/21(金)

1時間あたり 会員2000円(一般2500円)、要予約

### ■サポート資源提供システム試験運用開始記念セミナー

「NPOと企業の新しい関係に向けて」

○NPO向け 7/20(金) 13時30分~

会場・仙台市市民活動サポートセンター

○企業向け 8/2(木)

会場・ハーネル仙台 時間・13時30分~ 参加費無料

※NPOとの連携に関心がある企業・個人向け

### ■アレマ隊員養成講座

8/1(水) 13時~16時30分

会場・市民活動サポートセンター 参加費無料

講師・当センター 加藤哲夫、紅邑晶子

主催/問い合わせ・仙台市廃棄物管理課 022-2148250

■第3回 2000年度通常総会 9/9(日)

講演会など企画中です。お楽しみに!

## せんだい・みやぎNPOセンター

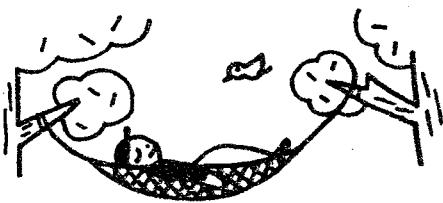
〒980-0804 仙台市青葉区大町2-6-27 岡元ビル4F

tel 022-264-1281 fax 022-264-1209

E-mail minmin@jca.ax.apc.org

<http://www5a.biglobe.ne.jp/~minminHP/>

大好評! ホームページ! 更新中!



## 会員の方へ

### ■E-mailを教えて下さい。

様々な情報の受発信で、今後E-mailを活用したいと考えています。アドレスをお持ちの方は「minmin@jca.ax.apc.org」までメールをいただけますでしょうか。個別にニーズにあった情報をお送りできるようにしたいと考えています。

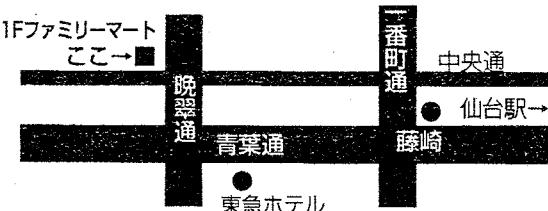
### ■FAX番号を教えて下さい。

大切な情報を素早く会員の方に手軽に送るために「FAXみんみん」をお送りしています。前はお持ちでなかった方、FAXみんみんが届いていない方、ぜひお知らせください。

### ■情報ライブラリー7月末開設!!

当センターでは、NPO・市民活動団体の皆さんから活動に関する情報を預かりし、企業や社会に広く公開・発信します。企業や市民と一緒に連携を図り活動を広げましょう。お問い合わせは当センターまで。

■岡元ビル4F 仙台駅から徒歩15~20分



## みんみん編集後記

■7月1日は当センターの誕生日。誕生日間際に、当センターの会員数がちょうど260になりました。3周年の記念すべき会員は、詩人の谷川俊太郎さんでした。おめでとうのプレゼントに、私が着ていたチャーリーブラウンの顔が後ろについたTシャツを差し上げました。あんなんによかったのかなあ。(紅邑) ■季節は初夏。そう、巷はバーゲンの季節。とゆーわけで、軍資金を確保すべくお弁当生活に突入した“くどお”なのです。しかし! 朝から晩までサボセンな私としては「夕飯用」のお弁当箱が必要なことに気づいてしまった。どおしよ。(工藤) ■3月に引っ越した家は窓がシックな木枠です。網戸がないので虫に刺される回数が増えました。反面、風の通りがよく電気を消してボーッと風に吹かれながら夜景を眺めたりしています。アジアンな暮らしを目下目指し中!(遠藤)

●みんみん編集部にご感想をお寄せ下さい! 季節の海・山の珍味大歓迎。一緒に冷酒を酌み交わしましょう!!